

提案書評価基準

1 評価事項

提案書に対する評価は、表 1 の評価項目及び配点のもとに行います。 評価の視点は表 2 のとおりとします

2 評価方法

(1) 配点

評価表の各評価項目に配分する得点は次のとおりとする。

評価項目	配点
1 業務実績	15 点
2 業務実施体制	15 点
3 実施内容（１）	30 点
4 実施内容（２）	30 点
5 実施内容（３）	30 点
6 実施内容（４）	20 点
7 実施内容（５）	10 点
8 実施内容（６）	10 点
9 企業としての取組	8 点
10 一般競争入札者名簿登録	2 点
合計	170 点

(2) 採点方法

ア「業務実施体制」「実施内容（５）」「実施内容（６）」は、A、C、E の３段階評価を行う。

イ「業務実績」「実施内容（１）」「実施内容（２）」「実施内容（３）」「実施内容（４）」は、A、B、C、D、E の５段階評価を行う。

ウ 評価点について、次のように配点を行う。

それぞれの配点に、 $A=5/5$ 、 $B=4/5$ 、 $C=3/5$ 、 $D=2/5$ 、 $E=1/5$ を乗じて算出する。

(ア) 実施内容（４）

配点 20 点 $A=20$ 点、 $B=16$ 点、 $C=12$ 点、 $D=8$ 点、 $E=2$ 点

(イ) 業務実施体制

配点 15 点 $A=15$ 点、 $C=9$ 点、 $E=3$ 点

(ウ) 業務実績、実施内容（２）

配点 15 点 $A=15$ 点、 $B=12$ 点、 $C=9$ 点、 $D=6$ 点、 $E=3$ 点

(エ) 実施内容（１）（３）

配点 10 点 $A=10$ 点、 $B=8$ 点、 $C=6$ 点、 $D=4$ 点、 $E=2$ 点

(オ) 実施内容（５）（６）

配点 10 点 $A=10$ 点、 $C=6$ 点、 $E=2$ 点

エ 企業としての脱炭素・環境に関する取組の評価については、表 1 の「評価の着目点」に記載した項目について 1 つ満たすごとに 2 点を加算する。

オ 一般競争入札有資格者名簿への登録についての評価は、表 1 の「評価の着目点」に記載した項目について 1 つ満たすごとに 1 点を加算する。

カ 評価が同点となった場合は、評価委員会に出席した委員の多数決で決し、票数が同数の場合

は、委員長の決するところによる。

キ 評価に E がある場合は、候補者に原則として特定しない。

< 表 1 >

評価項目 (配点)	評価内容	評価の着目点	配点	評価	評価点
	業務実績 (15 点)	過去 5 年間に類似業務の実績があり、その業務内容や事業手法が本業務の実施につながると評価できるか。	15		
	業務実施体制 (15 点)	本市との十分な連絡調整ができる体制が整備され、円滑かつ継続的に安定した業務遂行が期待できるか。	15		
	実施内容 (1) 衣類分野の横浜型循環型社会の形成に向けた グランドデザインの策定 (30 点)	・横浜市の方針や施策、背景を踏まえ、事業の目的を的確かつ十分理解された提案となっているか。 ・事業の全体構成が事業目的を達成する内容になっているか。	10		
		GREEN×EXP02027 を事業全体のマイルストーンと位置づけた内容となっているか。	10		
		実現可能性があり、持続可能な事業に向けた内容となっているか。	10		
	実施内容 (2) 市内の大学と連携した 衣類循環の促進 (30 点)	大学と連携した不要な衣類を循環させる具体的な取組内容となっているか。	15		
		資源集団回収の普及啓発につながる提案となっているか。	15		
	実施内容 (3) 不要な衣類からの再生 及び新たなプロダクト を活用した循環の創出 (30 点)	新たなプロダクトに関して先進性・話題性のある提案となっているか。	10		
		市民に訴求力のある提案であるか。	10		
		実現性のある提案であるか。	10		
	実施内容 (4) 不要な衣類を活用した 試行的取組の実施 (20 点)	実現性や独創性のある提案内容となっているか。	20		
	実施内容 (5) 温室効果ガス削減効果 の算出 (10 点)	温室効果ガス削減効果の把握方法について科学的に妥当な提案となっているか。	10		
	実施内容 (6) 業務実施に係るネット ワークの構築、プロモ ーション、プロジェク ト進行 (10 点)	ネットワーク構築やプロモーション、プロジェクト進行が事業全体を円滑に進めるためのものとなっているか。	10		
	企業としての脱炭素・ 環境に関する取組 (8 点)	☐ 横浜市 SDGs 認証制度” Y-SDGs” 認証の取得 ☐ エコアクション 21 認証の取得 ☐ 横浜環境活動賞 (企業の部) の受賞 ☐ 脱炭素取組宣言の実施 【各項目の配点 2 点】	8		
	一般競争入札有資格者 名簿への登録 (2 点)	☐ 市内事業者であること ☐ 中小企業であること ※共同事業体の場合、該当する 1 社以上が参加していれば加点 【各項目の配点 1 点】	2		

< 表 2 >

評価項目		評価の視点	評価				
			A(5/5)	B(4/5)	C(3/5)	D(2/5)	E(1/5)
1 組織運営・実施体制	業務実績 (15点)	過去5年間に類似業務の実績があり、その業務内容や事業手法が本業務の実施につながると評価できるか。	同種業務で複数の受託実績があり、業務実績を本業務の実施に生かすことが十分期待できる	同種業務で受託実績がある、業務実績を本業務の実施に生かすことが期待できる	同種業務で受託実績がある、業務実績を本業務の実施に生かすことがやや期待できる	同種業務で受託実績はないが、業務実績を本業務に生かすことがやや期待できる	同種業務で受託実績がない、または業務実績を本業務に生かすことが期待できない
	業務実施体制 (15点)	本市との十分な連絡調整ができる体制が整備され、円滑かつ継続的に安定した業務遂行が期待できるか。	本市と連絡・調整ができる仕組みや体制等が提案されており、円滑な実施が期待できる		人員配置や組織体制において、必要水準を満たしている		十分な人員配置がなく組織体制が整っていない。または該当する記載がない
2 実施内容	(1)『衣類分野の横浜型循環型社会の形成に向けたグランドデザインの策定』の提案内容 (30点)	・事業の全体構成が事業目的を達成する内容になっているか。	事業目的達成することが十分期待できる	事業目的達成することが期待できる	事業目的達成することがやや期待できる	事業目的達成することがあまり期待できない	事業目的達成することが全く期待できない
		・GREEN×EXPO2027を事業全体のマイルストーンとして位置づけた内容となっているか。	GREEN×EXPO2027をマイルストーンとして十分に位置づけられている。	GREEN×EXPO2027をマイルストーンとしてやや位置づけられている。	GREEN×EXPO2027をマイルストーンとして位置づけがやや十分でない。	GREEN×EXPO2027をマイルストーンとして位置づけが十分でない。	GREEN×EXPO2027をマイルストーンとして位置づけられていない。
		実現可能性があり、持続可能な事業に向けた内容となっているか。	実現可能性が非常に高く、持続可能性が十分期待できる	実現可能性が高く、持続可能性が期待できる	実現可能性があり、持続可能性がやや期待できる	実現可能性や持続可能性があまり期待できない	実現可能性や持続可能性が全く期待できない
	(2)『市内の大学と連携した衣類循環の促進』の提案内容 (30点)	大学と連携した不要な衣類を循環させる具体的な取組内容となっているか。	具体性があり、効果が十分期待できる提案となっている	具体性があり、効果が期待できる提案となっている	標準的な提案となっている	具体性や効果があるがあまり期待できない	具体性がなく、効果が期待できない
		資源集団回収の普及啓発につながる提案となっているか。	非常に普及啓発の効果が期待できる	十分普及啓発の効果が期待できる	標準的な提案となっている。	あまり普及啓発の効果が期待できない	全く普及啓発の効果が期待できない
	(3)『不要な衣類からの再生及び新たなプロダクトを活用した循環の創出』の提案内容 (30点)	新たなプロダクトに関して先進性・話題性のある提案となっているか。	先進性・話題性が非常に高い提案となっている	先進性・話題性が高い提案となっている	標準的な提案となっている。	先進性・話題性がある提案とはあまりいいえない	先進性・話題性がある提案とはいえない
		市民に訴求力のある提案となっているか。	市民への訴求力が非常に高い提案となっている	市民への訴求力が高い提案となっている	標準的な提案となっている	市民への訴求力がやや低い提案となっている	市民への訴求力が低い提案となっている
		実現性のある提案となっているか。	実現性が非常に高い提案となっている	実現性が高い提案となっている	標準的な提案となっている	実現性がある提案とはあまりいいえない	実現性がある提案とはいえない
	(4)『不要な衣類を活用した試行的取組の実施』の提案内容 (20点)	実現性や独創性のある提案となっているか。	実現性や独創性が非常に高い提案となっている	実現性や独創性が高い提案となっている	標準的な提案となっている。	実現性や独創性がある提案とはあまりいいえない	実現性や独創性がある提案とはいえない
	(5)『温室効果ガス削減効果の算出』の提案内容 (10点)	温室効果ガス削減効果の把握方法について科学的に妥当な提案となっているか。	実施内容における削減効果を正確に把握できる方法が提案されている		実施内容における削減効果を把握できる方法が提案されている		削減効果を把握できる方法が提案されていない
	(6)『業務実施に係るネットワークの構築、プロモーション、プロジェクト進行』の提案内容 (10点)	ネットワーク構築やプロモーション、プロジェクト進行が事業全体を円滑に進めるためのものとなっているか。	事業全体が円滑に進むことが十分期待できる		事業全体が円滑に進むことが期待できる		事業全体が円滑に進むことが期待できない
3 企業としての取組	企業としての脱炭素・環境に関する取組 (8点)	□横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”認証の取得 □エコアクション21認証の取得 □横浜環境活動賞(企業の部)の受賞 □脱炭素取組宣言の実施					
	一般競争入札有資格者名簿への登録 (2点)	□市内事業者であること □中小企業であること ※共同事業者の場合、該当する1社以上が参加していれば加算					